

1 学校経営計画

学校番号	9	学 校 名	富士特別支援学校富士宮分校	校 長 名	狩野見 知穂子
------	---	-------	---------------	-------	---------

(1) 目指す学校像

① 教育目標 「富士に向かってはばたく たくましく生きる人」を育てる

学校経営のテーマ：お互いを尊重し合える学校

富士宮分校 校訓 「誠実 努力 笑顔」

分校教育目標 「地域の一員として、主体的に社会で生きる人」を育てる

② 目標具現化の柱

ア 【守り認め合う】安全・安心な学校生活づくり

イ 【育み高め合う】「主体的に社会で生きる人」を目指した授業づくり

ウ 【つながり合う】家庭・地域・関係諸機関と連携・協働づくり

(2) 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア 守 り 認 め 合 う	安全・安心な教育環境の整備	・人権教育の計画的実施 ・ヒヤリ・ハットの迅速な共通理解と環境整備の見直し（発見、気づき、共有、改善）	・安心して学校生活が送れるよう、生徒に対し人権を尊重した言動をとっている。 ・事故や怪我を減らすための情報共有を行いながら、安全な環境を整えている。	安全部 教務課
	生徒自らが命を守る行動力の育成	・自分の命を守る行動を思考する訓練・講座等の計画的実施。 ＜新規取組＞ 自転車ヘルメット着用、KYT、火山噴火想定訓練、生徒の不審者対応訓練、ジュニア防災士資格活用実践等	・生徒が自分事として捉えるよう、防災防犯及び安全に関する学習内容を工夫している。	安全部 教務課 体育課
	危機管理マニュアルに基づく防災・防犯体制の充実	・「安全の日」を設定し、各種マニュアルの見直し及び視覚化の推進	・様々な緊急事態に対応する協働行動に移せるよう、行動や役割を理解している。	安全部
イ 育 み 高 め 合 う	自分や人を大切にし、豊かに生きる心の育成	・多角的な思考を深める道徳の授業の充実と生徒の豊かな心の育成 ・いじめに関する職員研修及び生徒自身の思考を育む授業実践 ・学校生活アンケート等による生徒の情報共有と気持ちに寄り添う体制づくり	・生徒に寄り添い、自他を大切にする思考を深める教育活動を工夫している。	生徒指導課 指導部
	表現する喜びを実感し豊かな情操を育む学びの推進	・「音楽」「美術」授業や読書活動の充実（各種連携による専門性向上） ・校内外の芸術発表、各コンクール等への発信及び鑑賞者からのフィードバックの実施	・生徒が表現したり創造したりする喜びや意欲を高めるための授業実践を行っている。	文化芸術課 指導部 (連携部)
	健全な心身を育む活動の充実	・体力の向上が意識できるような体育的活動の実践と充実 ・自分の生活リズムや体調への意識を高める保健授業の充実	・自分の健康や生活リズムを考え、整えることができるような教育活動の充実を図っている。	体育課 保健課 研修課 (自立活動主任)

様式第 1 号

イ 育 み 高 め 合 う	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業の進展	- 生徒が「なりたい自分」を目指す授業実践の推進 - 事例生徒を挙げた授業研究、一人一授業や研修会の効果的な実施 - 生徒の思考する姿を支える授業づくりの推進（実態や目標に応じたグルーピングやT Tの支援など） - 年間計画に基づく評価・改善の充実	研修テーマに掲げる「なりたい自分」に必要な力を育む授業研究を熟議して行っている。	研修課 指導部
	キャリア発達を促す教育の充実	- 生徒が自分の歩みを描くキャリアパスポートの内容整理及び活用の推進 「進路の手引き」を活用し、3年間の段階的な進路指導の充実 - 生徒が主体的に取り組む生徒会活動等の充実	- チームで連携し、生徒の段階的な進路指導と積み上げのあるキャリア教育の充実を図っている。 - 生徒が主体的に学校のことを考え、行動する生徒会活動を導いている。	進路指導課 教務課
	チーム力が高まる働きがいと働きやすさのある職場の構築	- 働きやすい職場環境づくりのための教職員間の情報共有と協働 - 会議の内容精選と時間の有効活用し、ノー会議デー（定時退勤日）を設定する - 不祥事根絶に向けて、コンプライアンスや情報セキュリティの意識の高まりをめざした職員研修	- 一人一人が少しでも働きやすい職場環境になるように改善を図っている。 - 定時退勤日に18:00に退庁できた職員90%以上 - 命や人権を守る教育公務員としての倫理観や人権感覚を高めている。（不祥事ゼロ）	教務課 生徒指導課
ウ つ な が り 合 う	近隣高校との共生・共育及び地域資源を活用した授業の充実	- 富士宮市内高等学校との交流及び共同学習の充実・発展 - 幼稚園、小学校、中学校、施設等との交流活動による心の育成 - 地域の人材や資源を活用した授業の工夫 外部講師等を招聘した授業	- 生徒及び教師間の交流を深め、協働した活動を展開し、自他の良さに気づく働きかけをしている。 - 地域（教育）資源や人材を活用し協働した学習活動を展開している。	連携部
	特別支援教育のセンター的機能の推進	- 中学校特別支援学級への分校教育活動の理解啓発活動の推進 - 小中高等学校の特別支援教育のニーズに応じた丁寧な対応の推進 - 小中高等学校の教員に対する研修協力及び研修後のアフターフォローの実施	分校の理解啓発を図り、小中高等学校への支援を必要に応じてチームで対応している。	進路指導課 （特支 Co.）
	家庭・地域・関係機関との連携・協働の推進	- 進路や職場実習等に関する迅速な情報共有の徹底 - 教育活動の目的や生徒の思いが伝わるホームページ、SNS、学校掲示板の活用 の推進	- 生徒を中心に考え、保護者、関係機関との連携ができて いる。 - 生徒の校内及び地域で学び育つ様子が伝わるような発信している。	連携部